

施策評価表

施策番号 221110

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	1 幼児教育			
個別施策	1 幼児教育の充実			
担当部・課	健康子ども部	子ども育成課	評価者	課長 畑島 寿

1 施策が必要な背景及び現況

近年、幼児を取り巻く環境は大きく変化し、多様化する市民ニーズへの対応が必要となる。少子高齢化の進展の中で、時代を担う人材の育成は重要課題であり、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性は益々大きくなっており、幼稚園やその他幼児施設など、それぞれで幼児教育を充実させることが求められています。

2 施策の目標

幼児の自発的な活動としての「遊び」を重要な学習として位置づけ、「環境を通して行う」という幼児教育の基本に立って、心身共に健全な発達を促す幼児教育の推進に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	幼児とその保護者
手段・方法 (どのような方法で)	1 幼稚園教育要領に基づいた教育の研修の開催などにより、教育力の資質向上を図ります。 2 私立幼稚園と連携を深めながら、幼児特別支援及び幼児教育の推進を行うほか、幼児教育を受けやすい環境整備のために、保護者の負担軽減策を講じます。
施策の意図 (どのような状態に)	幼児期が、生きる力の基礎を形成する重要な発達段階にあることから、多種多様な幼児教育の提供の場を明確にし、義務教育前の保護者の安心や、就園選択の幅を確保します。また、市内幼稚園の特別支援教育を支援することで、安定した就学指導を推進します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>平成26年度から市内幼稚園が全て私立園となり、市との連携がこれまで以上に求められるなか、26年度から幼稚園教諭及び保育士を対象とした幼児期の特別支援教育の推進に向けた研修をスタートしたほか、幼児期の個別の教育支援計画書を平成28年度から試行導入、29年度から本格導入したことは、教育力の資質向上、幼児教育を受けやすい環境整備に結びつく取組みであり、大きな成果をあげられたと考えています。</p> <p>なお、これらの取組みに要する経費（補助金を除く）は、主に人件費であることから経常費用の範囲内で対応しています。</p> <p>また、私立幼稚園入園料並びに就園奨励費補助金等を継続したことにより、保護者の負担軽減を計画どおり進めることができました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	06	子育て支援の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画では、子どもの教育・保育環境の整備を図るため、関係機関と連携しながら、幼児期の特別支援教育の推進に向けた研修、幼児期の個別の教育支援計画書などの取組みを継続し、統合保育の質の向上や幼保・幼少連携の環境整備に取り組んでいきます。</p>				

施策評価表

施策番号 221120

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	1 幼児教育			
個別施策	2 地域社会との連携			
担当部・課	健康子ども部	こども育成課	評価者	課長 畑島 寿

1 施策が必要な背景及び現況

近年、幼児を取り巻く環境は大きく変化し、多様化する市民ニーズへの対応が必要となる。少子高齢化の進展の中で、時代を担う人材の育成は重要課題であり、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性は益々大きくなっており、家庭・地域・幼稚園、その他幼児施設など、それぞれで幼児教育を充実させ、互いに十分な連携を図っていくことが求められています。

2 施策の目標

幼児の自発的な活動としての「遊び」を重要な学習として位置づけ、「環境を通して行う」という幼児教育の基本に立って、心身共に健全な発達を促す幼児教育の推進に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	一般市民（地域住民、小中学生、未就学児親子）
手段・方法 (どのような方法で)	幼児教育に関する情報発信や、地域住民・小中学生等とのかかわりを深める活動、または、幼児教育理解のための企画運営
施策の意図 (どのような状態に)	幼稚園が「地域の幼児教育センター」としての役割を果たし、地域住民・小中学生等とのかかわりを深め、異年齢交流や親子交流により、地域の子育て支援活動の推進が図られます。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>平成26年度から市内幼稚園が全て私立園となり、市との連携がこれまで以上に求められるなか、26年度から幼稚園教諭及び保育士を対象にスタートした研修会で寄せられた意見及び要望を踏まえ、就学時に小学校と円滑な引継ぎができるよう、幼稚園に限らず保育所及び認定こども園にも対応できる個別の教育支援計画をスタートし、就学時に小学校と円滑な引継ぎができる仕組みづくりに取り組むことにより、私立幼稚園との連携を深めることができ、大きな成果をあげられたと考えています。</p> <p>なお、これらの取組みに要する経費の多くは人件費であることから、経常費用の範囲内で対応しています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	06	子育て支援の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画では、子ども・子育てを地域で支え合う環境整備を図るため、私立幼稚園が実施する地域開放事業を通じ、町内会や未就園児との関わりを深め、地域子育て支援活動の充実を図っていきます。</p>				

施策評価表

施策番号	221211
------	--------

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります		
基本施策	2 義務教育		
個別施策	1 教育内容の充実①（学校図書）		
担当部・課	教育部 学校教育課	評価者	課長 阿部 秀明

1 施策が必要な背景及び現況

社会構造の急速な変化に伴い、「生きる力」を育み、「豊かな人間性の育成」を目指した心の教育の充実が強く求められており、教育施設・設備の充実を図ることが極めて重要な課題となっています。

2 施策の目標

21世紀の郷土を担う、自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持つ児童生徒を育成するため、社会の変化に対応する教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	小中学校の児童・生徒
手段・方法 (どのような方法で)	各学校の図書充足率に応じ図書購入費を配分
施策の意図 (どのような状態に)	学校図書を充実させ児童生徒の読書活動を推進することにより、確かな学力、豊かな心を育むほか、自主的・探究的な教育活動を推進します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input checked="" type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	再編交付金や寄附などにより、図書の購入や学校図書館の環境整備が進んでいることもあり、児童生徒1人あたりの図書貸出数は増加傾向にあります。充足率達成校数は、小学校13校、中学校11校と全体の6割程度となっております。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	19	義務教育の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	各学校の学校図書館の位置づけや活用方法、図書充足率、図書の1人あたりの貸出数、図書ボランティアの活動内容等に差異が見られます。図書購入予算の確保ほか、学校司書の配置拡大や運営の手引きを活用し、学校図書館の効果的運用を促進します。				

施策評価表

施策番号 221212

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります		
基本施策	2 義務教育		
個別施策	1 教育内容の充実②（心の教室他）		
担当部・課	教育部 指導室	評価者	教育部参事 丹野 靖彦

1 施策が必要な背景及び現況

社会の激しい変化の中で、「生きる力」を育み、「豊かな人間性の育成」を目指した学校教育の推進に努めるとともに、教育施設・設備の整備充実を図ることが課題です。そこで、今後も特別支援学級を含む小・中学校の新增設や適正配置など、教育環境の整備を進めていく必要があります。

2 施策の目標

21世紀の郷土を担う、自ら学ぶ意欲と豊かな人間性をもつ児童生徒を育成するため、社会の変化に対応する教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	教職員・児童生徒・保護者
手段・方法 (どのような方法で)	今日的な教育課題や教員のニーズを踏まえた研修講座を開設するとともに、教育研究や教育指導の質的向上と児童生徒に対する指導体制の充実を図ります。
施策の意図 (どのような状態に)	研究体制や指導体制を充実させ、学校の教育力を高めます。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質や能力の向上が、研修講座の充実により図られています。 ・スクールソーシャルワーカーや心の教室相談員の配置による不登校児童生徒等への対応が充実してきています。 ・学校適応指導教室による不登校児童生徒への支援の充実が図られています。 				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	19	義務教育の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>①教育研究所の研修講座の充実と事業改善を進めます。</p> <p>②外国語指導助手（ALT）、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員、学校適応指導教室（あおば学級）の専任指導員など、学校に対する支援体制の維持・充実を図ります。</p>				

施策評価表

施策番号 221220

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります		
基本施策	2 義務教育		
個別施策	2 特別支援教育の充実		
担当部・課	教育部 指導室	評価者	教育部参事 丹野 靖彦

1 施策が必要な背景及び現況

社会の激しい変化の中で、「生きる力」を育み、「豊かな人間性の育成」を目指した学校教育の推進に努めるとともに、教育施設・設備・体制の整備充実を図ることが課題である。特別支援学級を含む教育的支援が必要な全ての児童生徒のために教育環境の整備を進めていく必要があります。

2 施策の目標

21世紀の郷土を担う、自ら学ぶ意欲と豊かな人間性をもつ児童生徒を育成するため、社会の変化に対応する教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	児童生徒
手段・方法 (どのような方法で)	特別支援学級の適正な設置及び特別支援教育支援員の配置など体制整備を進めます。
施策の意図 (どのような状態に)	児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、障害の状態及び発達段階や特性に応じた指導の充実に努めるとともに、適切な教育的支援及び就学後の一貫した教育的支援を推進します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	特別支援学級の体制整備については、中学校における特別支援学級の設置とともに特別支援教育支援員等の増員を図っていることが、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えることにつながっています。しかし、教育的支援を必要とする児童生徒が毎年、増加傾向にあることから今後も特別支援教育支援員の増員など継続した取組が必要です。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	19	義務教育の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	特別支援学級や通級指導教室、通常の学級に特別支援教育支援員等を増員するとともに、特別支援教育支援員等の研修会の充実を図ります。				

施策評価表

施策番号 221230

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	2 義務教育			
個別施策	3 施設・設備の充実			
担当部・課	教育部 施設課	評価者	課長 山地 吉明	

1 施策が必要な背景及び現況

社会の激しい変化の中で、学校教育をめぐっては、「生きる力」を育み、「豊かな人間性の育成」を目指し、心の教育の充実を図っていくことが求められています。
 そのためには、学習指導や学校教育の推進に努めるとともに、教育施設・設備の整備充実を図ることが課題です。

2 施策の目標

21世紀の郷土を担う、自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持つ児童生徒を育成するため、社会の変化に対応する教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	小・中学校施設
手段・方法 (どのような方法で)	耐震化や新增改築、改修事業の実施
施策の意図 (どのような状態に)	児童生徒の安全確保及び教育環境の向上

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>平成28年度までに、耐震補強による耐震化工事は全て完了しており、改築による耐震化が必要な7学校施設についても、現在5学校施設の改築事業に着手しています。</p> <p>また、児童生徒数の増加に対応するための3学校施設の増築工事を実施したほか、2学校施設の新増築工事に着手しました。</p> <p>このことにより、児童生徒の安全確保及び教育環境の向上に関して成果を得ていると考えています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	19	義務教育の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>教育の充実を進める基盤として、教育施設・設備の充実は急務ですが、建築年度の古い校舎や屋内運動場が多い状況にありますので、適正配置を考慮した上で、耐震化や老朽化対策を含む改築・改修を進め、安全が確保された教育環境の整備を進めていきます。</p>				

施策評価表

施策番号 221240

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	2 義務教育			
個別施策	4 父母負担の軽減			
担当部・課	教育部 学校教育課	評価者	課長 阿部 秀明	

1 施策が必要な背景及び現況

社会構造の急速な変化に伴い、「生きる力」を育み、「豊かな人間性の育成」を目指した心の教育の充実が強く求められており、教育施設・設備の充実を図ることが極めて重要な課題となっています。

2 施策の目標

自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持つ児童生徒を育成するため、社会の変化に対応する教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	養護学校、特別支援学級に通学する児童生徒の父母 特定地域から遠距離通学する児童の父母
手段・方法 (どのような方法で)	送迎バス運営費の補助、児童生徒付添者のバス代やガソリン代を助成 3 km以上 4 km未満の通学距離にある児童のバス定期代の半額を助成
施策の意図 (どのような状態に)	児童生徒の通学等に係る父母負担を軽減します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	該当する児童生徒数により補助額が増減しますが、意図した成果が得られています。児童生徒の安全確保や父母負担を軽減するために、今後も継続する必要があります。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	19	義務教育の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>平取養護学校への送迎バスは、児童生徒数の増加や燃料費の増加による影響に伴い、補助額の増が見込まれます。今後も児童生徒数等の状況を注視しつつ、関係機関との協議を継続します。</p> <p>特別支援学級への通学扶助は、毎年多少の増減があるものの、一定数の対象者が見込まれますので、今後も施策の継続をいたします。</p>				

施策評価表

施策番号 221311

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	3 高校・大学・各種教育機関			
個別施策	1 高等学校の充実①			
担当部・課	教育部 学校教育課	評価者	課長 阿部 秀明	

1 施策が必要な背景及び現況

少子化が進む中で、本市の公立高等学校の間口削減が続いており、市内の中学校を卒業した生徒が市外の高等学校に通学することを余儀なくされ、保護者の経済的負担の増大などの課題が生じています。

2 施策の目標

市内公立高等学校の適正な間口の確保に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市内の公立高等学校に進学する生徒及びその保護者
手段・方法 (どのような方法で)	公立高等学校配置検討協議会の運営
施策の意図 (どのような状態に)	市内公立高等学校の適正な間口を確保します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input checked="" type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	公立高等学校配置計画地域別検討協議会への参加、胆振他市町や私立高校の意見等の分析にとどまっています。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	20	高校・大学・各種教育機関の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	少子化による生徒数の減少の影響を踏まえるとともに、教育水準を維持し、学校生活を充実させるために、道教委の配置計画を分析する中で、必要に応じて協議会を開催するなど、関係機関との意見調整を行います。				

施策評価表

施策番号 221312

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	3 高校・大学・各種教育機関			
個別施策	1 高等学校の充実②（私学振興）			
担当部・課	教育部 総務企画課	評価者	課長 齋藤 貴志	

1 施策が必要な背景及び現況

高等学校や大学などで地域の活性化と魅力向上を目指す人材の育成が期待されますが、公立高等学校と比較すると私立高等学校においては保護者の経済的負担が大きいため、生徒（保護者）及び学校への支援が必要です。

2 施策の目標

私立高等学校における生徒活動の充実などのために必要な支援を行います。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	私立高等学校及びその生徒
手段・方法 (どのような方法で)	私学振興事業（補助金）による支援
施策の意図 (どのような状態に)	生徒活動の充実や負担の軽減

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	補助金の交付により、各学校は学校祭や生徒会活動、部活動、研修など生徒活動の補助として有効に使用しています。また、補助金により生徒（保護者）の負担も軽減されています。高校へ通学させている世帯に対する就学支援金の制度は存在しますが、私立高校の授業料を含めた経済的な世帯負担は公立高校とは未だ格差があります。この制度によって経済的な世帯負担の緩和にもなっています。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	20	高校・大学・各種教育機関の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	平成22年度より『高等学校等就学支援金制度』が導入され、平成26年度に一部改正されています。私立高校無償化の議論が活発になれば、その方向性の見直しを考える必要があります。北海道を含めた他自治体の動向、制度改正の状況も踏まえ、状況によっては本補助金の必要性やあり方について再考し、見直しを検討します。				

施策評価表

施策番号 221320

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	3 高校・大学・各種教育機関			
個別施策	2 高等教育機関との連携			
担当部・課	総合政策部 政策推進課	評価者	課長 山田 学	

1 施策が必要な背景及び現況

地域の活性化を図るには、優れた人材の育成が欠かせません。苫小牧駒澤大学には、これまで、公開講座や図書館情報センターの開放等、地域の生涯学習に貢献していただけてきました。また、大学施設を市民に開放し、地域に開かれた大学としても愛されてきました。

平成30年度から、大学の経営が学校法人駒澤大学から学校法人京都育英館に移管されましたが、これまでの地域貢献を継承していただき、更なる教育分野の拡充やより広い分野で地域との交流を促進していただくため、協議をしていくことが重要となります。

2 施策の目標

各種高等教育機関との教育・研究分野での連携を進めるとともに、高等教育機関の間における連携や交流に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	生涯学習・人材育成
手段・方法 (どのような方法で)	高等教育機関との連携・協力
施策の意図 (どのような状態に)	地域の活性化

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>苫小牧駒澤大学は、市内唯一の大学として、人材の育成はもとより、公開講座などを広く市民に開放し、地域に根ざした生涯学習の拠点としての役割も果たしています。また、本市は、相互協力協定に基づき、通年で職員を講師として派遣し、大学からも教員や学生が審議会委員やボランティアとして、まちづくりの協力を得ています。</p> <p>平成29年度に経営移管が決定し、手続きが円滑に進むよう支援を行いました。</p> <p>大学と連携し効率的に諸課題を解決してきたことは、地域社会の発展や地域人材の育成に効果があったと考えられます。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	20	高校・大学・各種教育機関の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画では、魅力あるまちづくりを進めるため、高等教育機関との連携をより一層深めていきます。</p> <p>平成30年度から、苫小牧駒澤大学の経営を継承した学校法人京都育英館と包括連携協定を締結し、多様な分野で相互に協力を進めます。</p>				

施策評価表

施策番号 221330

政策目標	1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります			
基本施策	3 高校・大学・各種教育機関			
個別施策	3 育英制度などの充実			
担当部・課	教育部 総務企画課	評価者	課長 齋藤 貴志	

1 施策が必要な背景及び現況

経済的な理由で就学が困難な方からの奨学金への申込みが増加傾向にあるため育英制度等の充実に努めます。

2 施策の目標

経済的な理由から就学が困難な方に、教育を受ける機会を与えます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	大学生、短期大学生、高等専門学校生、高等学校生、専修学校生、各種学校生、小中学校生に対し、奨学金、入学一時金及び就学支度金の貸与又は給与
手段・方法 (どのような方法で)	苫小牧市育英会・苫小牧市交通遺児育英会の制度による
施策の意図 (どのような状態に)	制度について広く周知し、経済的な理由から就学が困難な方に、少しでも就学の機会を与えられるよう努めます。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>広報周知、学校周知などを実施していますが、ここ数年、10件前後の制度利用者となっています。制度利用者は増加傾向ではないものの、他の奨学金制度と比べて、無利子で奨学金が貸与されることにより、制度の必要性は十分にあり、この制度を活用して就学している世帯があります。</p> <p>現在、教育部総務企画課に事務局を配置し、学校との連携など、効率的に仕事を遂行しています。</p> <p>本制度の意義・効果に関しては、経済的に困窮した世帯等への効果は非常に大きく、意図した成果と費用に見合った効果は得られています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	20	高校・大学・各種教育機関の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>貸与制度については、国の政策や他自治体の動向を見据えながら、現在の制度が現況に見合った制度となっているか引き続き精査を行います。また、修学が困難な方に対しての更なる支援を目的に、今後は給付型奨学金制度の創設に向けて取り組みます。</p>				

施策評価表

施策番号 222110

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます		
基本施策	1 学習活動と社会参加		
個別施策	1 いつでもどこでも学ぶことのできる学習環境整備の充実		
担当部・課	教育部 生涯学習課	評価者	課長 白川 典之

1 施策が必要な背景及び現況

近年の少子高齢化、情報化、価値観の多様化等の急速な社会変化に対応し、充実した生涯学習社会を創造するために、豊かな発想を活かして市民とともに課題解決に取り組むことが必要です。

2 施策の目標

市民一人ひとりの生涯にわたる学習意欲を高め、豊かな心と自立の力を育て、人と人とが連帯する活力のある学びの環境づくりと、学びを生かしたひとづくり、まちづくりに努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民
手段・方法 (どのような方法で)	生涯学習関係部署や施設において行う講座・教室を充実させるほか、自主的に学びたい方に対する情報の提供や相談を行います。
施策の意図 (どのような状態に)	市民一人ひとりが生き生きとした活力ある生活を送るため、いつでもどこでも学ぶことのできる生涯学習機会が公平に与えられ、場の提供が図られている状態

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>学習情報や講座の開設等生涯学習機会の提供は、市民の生きがいや連帯、ひとづくりやまちづくりのために不可欠なものです。各施設で開設している講座・教室の実施状況調査においても市民のニーズを的確にとらえた内容にするなど、各施設において創意工夫を行っています。今後もニーズの把握に努めながら、継続していくことが必要です。</p> <p>また、行政のみならず市民団体やボランティア団体との連携や協働により事業を実施することで、経費の削減が図られています。</p> <p>第五次生涯学習推進基本計画の策定にあたり、各課・各施設等で生涯学習推進に関する具体的な施策に対し、社会教育委員会において検証を行っており、一定の取り組みがなされています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	21	生涯学習の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>少子・高齢化や情報社会の進展、経済のグローバル化による雇用環境の変化など、社会構造の急激な変化に伴い、地域課題も複雑さを増す中で、市民の学習ニーズの多様化・高度化が進んでいます。</p> <p>そのため、これまでの現状と課題を踏まえ策定した第五次生涯学習推進基本計画（平成30年度から5年間の計画）に基づき、市民一人ひとりのライフステージに応じた学ぶ機会や、学ぶ意欲に即応できる情報提供体制の充実などの施策を展開し、生涯学習の推進に取り組んでいきます。</p>				

施策評価表

施策番号	222120
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます		
基本施策	1 学習活動と社会参加		
個別施策	2 学んだ経験や成果を生かす地域コミュニティ形成の促進		
担当部・課	教育部 生涯学習課	評価者	課長 白川 典之

1 施策が必要な背景及び現況

近年の少子高齢化、情報化、価値観の多様化等の急速な社会変化に対応し、充実した生涯学習社会を創造するために、豊かな発想を活かして市民とともに課題解決に取り組むことが必要です。

2 施策の目標

市民一人ひとりの生涯にわたる学習意欲を高め、豊かな心と自立の力を育て、人と人とが連帯する活力のある学びの環境づくりと、学びを生かしたひとづくり、まちづくりに努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民
手段・方法 (どのような方法で)	団体等に対し活動支援を行うとともに、生涯学習関連団体や企業等との協働により学習会等を開催するなどの連携を図ります。
施策の意図 (どのような状態に)	生涯学習を通じて、人や文化のふれあいにより魅力あるまちづくりを進め、快適で活力に満ちた地域コミュニティが形成された状態

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>心豊かで充実した人生を送るためには、生活基盤となる地域社会が快適で活力に満ちたものであることが大切です。地域コミュニティの形成は、事業実施後、即数字や形に現れるものではありませんが、その必要性を周知するとともに、今後も継続して学んだ経験や成果を地域社会へ還元する視点での事業実施が求められます。</p> <p>第五次生涯学習推進基本計画の策定にあたり、各課・各施設等で生涯学習推進に関する具体的な施策に対し、社会教育委員会において検証を行っており、一定の取り組みがなされています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	21	生涯学習の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>生涯学習は個人の人生を豊かにするものであるとともに、学習成果を地域づくりやまちづくりに活かすことにより、社会全体の発展を実現する基盤となるものと期待されています。</p> <p>そのため、これまでの現状と課題を踏まえ策定した第五次生涯学習推進基本計画（平成30年度から5年間の計画）に基づき、社会や地域のさまざまな問題を解決するための生涯学習活動や、学んだ成果を地域コミュニティの形成や未来の人材育成につなげる取り組みを奨励し推進します。また、関係団体と連携しながら、学び合い、支え合い、高め合う環境づくりを進めていきます。</p>				

施策評価表

施策番号 222210

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	2 青少年教育			
個別施策	1 青少年健全育成の推進			
担当部・課	健康子ども部	青少年課	評価者	課長 亀尾 弘美

1 施策が必要な背景及び現況

近年、青少年の健全育成の基本である「家庭」「学校」「地域」を取り巻く社会情勢は、少子化や核家族化の進行、インターネットやスマートフォンの普及による大量の情報等の影響を受けております。本市においても青少年をめぐる問題は複雑さを増しており、このような状況から、青少年の心身を守り育てる核として、地域社会との結束をさらに強めていくことが必要となっています。

2 施策の目標

青少年を健やかに育む「家庭」「学校」「地域社会」との連携を強化し、安心・安全な育成環境の確保と、積極的な社会活動の場を設けます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	幼児から高校生
手段・方法 (どのような方法で)	市内町内会に対する青少年育成活動補助金を支出し、地域の青少年健全育成活動を支援します。
施策の意図 (どのような状態に)	地域の青少年活動を支援することにより、青少年の心身を育て、健全な青少年の育成を図ります。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>地域青少年対策促進補助金を町内会の世帯数と小中学生の数に応じ交付し、町内会活動の活性化を推進しました。補助金が地域活動の動機付けにもなっており、多くの町内会において青少年健全育成活動の一助となっています。</p> <p>町内会青少年活動を主導する役員や活動に参加する子どもたちが減少する中、各町内会においては行事の工夫や学校との連携をしながら活発化を図っております。補助金ですべての青少年対策事業を賄っているわけではありませんが、市が補助金を出すことの効果は大きいと考えます。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	06	子育て支援の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画においても、地域との連携を強め、青少年の健全育成を推進することとしています。</p> <p>町内会青少年活動を主導して行う役員の高齢化や担い手不足、町内会活動に参加する世帯や子ども会活動に参加する子どもの減少が各町内会で抱える問題となっている中、積極的に社会に参加する青少年を育成するため、市が実施するリーダー養成事業の内容の充実化を図るとともに、苫小牧市子ども会育成連絡協議会が実施する各種事業との連携を引き続き図ります。</p>				

施策評価表

施策番号	222221
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	2 青少年教育			
個別施策	2 青少年育成環境の整備①（児童館）			
担当部・課	健康こども部 青少年課	評価者	課長 亀尾 弘美	

1 施策が必要な背景及び現況

近年、青少年の健全育成の基本である「家庭」「学校」「地域」を取り巻く社会情勢は、少子化や核家族化の進行、インターネットやスマートフォンの普及による大量の情報等の影響を受けております。本市においても青少年をめぐる問題は複雑さを増しており、このような状況から、青少年の心身を守り育てる核として、地域社会との結束をさらに強めていくことが必要となっています。

2 施策の目標

青少年を健やかに育む「家庭」「学校」「地域社会」との連携を強化し、安心・安全な育成環境の確保と、積極的な社会活動の場を設けます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	幼児から中学生（一部の施設で高校生まで対象）
手段・方法 (どのような方法で)	「屋根のある公園」としての児童センターを設置・管理します。
施策の意図 (どのような状態に)	市内全域で幼児から中学生までが児童センターを利用できるよう新設及び老朽化した施設を統廃合します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	平成25年度には老朽化した西弥生児童館と大成児童センターを廃止し、平成26年4月に新大成児童センターを開設して、指定管理により運営しております。また、平成30年度に沼ノ端鉄北地区に児童センターを新設するため、平成28年度から設計業務を進め、平成29年度に本体工事に着手することができました。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	06	子育て支援の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	第6次基本計画では、地域青少年の健全育成の活動拠点として、児童センターの運営の充実を図ることとしております。既存の6か所の児童センター運営のさらなる充実を図り、人口増加が著しい沼ノ端鉄北地区について、児童センターを含めた複合施設（沼ノ端交流センター）を建設し、子育ての環境整備を進めます。				

施策評価表

施策番号 222222

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	2 青少年教育			
個別施策	2 青少年育成環境の整備②（放課後児童クラブ）			
担当部・課	健康子ども部 青少年課	評価者	課長 亀尾 弘美	

1 施策が必要な背景及び現況

近年、青少年の健全育成の基本である「家庭」「学校」「地域」を取り巻く社会情勢は、少子化や核家族化の進行、インターネットやスマートフォンの普及による大量の情報等の影響を受けております。本市においても青少年をめぐる問題は複雑さを増しており、このような状況から、青少年の心身を守り育てる核として、地域社会との結束をさらに強めていくことが必要となっています。

2 施策の目標

青少年を健やかに育む「家庭」「学校」「地域社会」との連携を強化し、安心・安全な育成環境の確保と、積極的な社会活動の場を設けます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	小学校1年生から6年生（平成26年度までは小学校3年生まで）
手段・方法 (どのような方法で)	児童センターや小学校の余裕教室を利用して放課後児童クラブを開設し、放課後の子どもの居場所作りを推進します。
施策の意図 (どのような状態に)	子どもを取り巻く環境の変化、家庭や地域の子育て機能・教育力の低下が指摘される中、放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保する必要があります。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>平成28年4月に放課後児童クラブの運営内容を見直し、月額利用料制を導入し、併せて、開室時間の延長、土曜日の開室等を実施し、利用者のニーズに応えるよう内容の充実を図りました。</p> <p>児童数が減少する中、放課後児童クラブの利用者数は伸びを見せており、利用者の増に対応できるようクラブの新規開設も進め、需要に応えることができたと考えています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	06	子育て支援の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>第6次基本計画では、子育て世帯の多様な働き方に対応するため、放課後児童クラブの充実を図り、共働き世帯の就労支援と児童の居場所づくりに努めることとしております。</p> <p>クラブの環境整備や職員体制の充実が求められているため、人材の確保など職員体制の充実や、安定的なクラブの運営を確保するため運営内容の改善などを行ってまいります。</p>				

施策評価表

施策番号	222230
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	2 青少年教育			
個別施策	3 青少年の社会活動の支援			
担当部・課	健康子ども部	青少年課	評価者	課長 亀尾 弘美

1 施策が必要な背景及び現況

近年、青少年の健全育成の基本である「家庭」「学校」「地域」を取り巻く社会情勢は、少子化や核家族化の進行、インターネットやスマートフォンの普及による大量の情報等の影響を受けております。本市においても青少年をめぐる問題は複雑さを増しており、このような状況から、青少年の心身を守り育てる核として、地域社会との結束をさらに強めていくことが必要となっています。

2 施策の目標

青少年を健やかに育む「家庭」「学校」「地域社会」との連携を強化し、安心・安全な育成環境の確保と、積極的な社会活動の場を設けます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	小学校5年生から高校3年生
手段・方法 (どのような方法で)	青少年が連帯意識を強め積極的に社会参加することができるよう、リーダー養成事業を実施します。
施策の意図 (どのような状態に)	キャンプなどの異年齢でのグループ活動を通して連帯意識を高め、積極的に社会参加するたくましい青少年を育成します。

4 第5次基本計画(後期5年)の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	サマーキャンプ、ウィンターキャンプ、ボランティア体験、子ども議会などリーダー養成事業を実施し、体験することのみならず、異年齢集団の中での役割を自ら考え行動することを意識付けするような研修にすることにより、施策の意図をより効果的に達成できたと考えます。 事業終了後の参加者や保護者からの意見や継続参加している子どもの状況から、相応の成果があったと評価できると考えています。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	06	子育て支援の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	第6次基本計画では、青少年の健全育成を推進し、積極的に社会参加する機会を提供することとしております。リーダー養成事業を中心とした研修事業により集団行動や社会体験の場を提供し、青少年の健全育成事業をより充実したものにするため、各事業のあり方を検討し、より多くの参加が見込めるような事業の推進を図ります。				

施策評価表

施策番号 222240

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	2 青少年教育			
個別施策	4 青少年の非行防止対策の推進			
担当部・課	健康子ども部	子ども支援課	評価者	課長 齋藤 健巳

1 施策が必要な背景及び現況

近年、青少年の健全育成の基本である「家庭」「学校」「地域」を取り巻く社会情勢は、少子化や核家族化の進行・教育力の低下・インターネットの普及やマスメディアから流れる膨大な量の情報等の影響を受け、本市においても青少年をめぐる問題は複雑さを増しています。このような状況から青少年の心身を守り育てる核として、地域社会との連携をさらに強めていくことが必要となっています。

2 施策の目標

青少年を健やかに育む「家庭」「学校」「地域社会」との連携を強化し、安心・安全な育成環境の確保に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	小学1年～高校3年の児童、生徒
手段・方法 (どのような方法で)	指導員による通常・特別巡回指導及び学校・地域社会、関係機関との連携
施策の意図 (どのような状態に)	青少年の非行防止及び健全育成の推進

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80～99%)	<input type="checkbox"/> C (60～79%)	<input type="checkbox"/> D (40～59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>指導員による通常巡回や祭典などの特別巡回指導を、状況に応じて実施箇所や回数、時間を係内協議をしながら効率的に行い、その結果を学校と共有しながら対策を進めることにより、児童・生徒の問題行動は軽微なものになってきています。</p> <p>『子ども守り心を育てる運動』を各関係機関や団体、地域などと協力しながら展開し、全市的なネットワークを構築して青少年の健全育成に努めています。</p> <p>その他にも講演会を開催し、地域住民や青少年の保護者向けの啓発活動を行っています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	06	子育て支援の充実		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>喫煙や飲酒、薬物乱用などの問題行動については、巡回活動や学校との連携により情報を把握し対応していくとともに、スマートフォンがらみのネットトラブル防止については、各関係機関と連携しながら、青少年に対するネットの危険性の周知と誤った利用について啓発活動を実施していきます。</p>				

施策評価表

施策番号	222310
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	3 市民文化			
個別施策	1 文化芸術にかかる活動の促進			
担当部・課	教育部 生涯学習課	評価者	課長 白川 典之	

1 施策が必要な背景及び現況

文化芸術は、人々の創造性や感性を育み、心豊かな社会を形成することから、市民生活のよりどころとして重要な役割を担っています。少子高齢化や高度情報化が著しく進展する社会背景の中、一段と多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、文化芸術活動の支援や人材の育成、文化財の保存活用などに努めます。

2 施策の目標

文化の薫り高く潤いある市民生活形成のため、文化芸術に対する意識の高揚に努め、「苫小牧市民文化芸術振興推進計画」に基づいて事業の振興を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民、各種文化団体等
手段・方法 (どのような方法で)	「苫小牧市民文化芸術振興推進計画」に基づく各事業の展開と、文化芸術への優れた貢献に対する顕彰
施策の意図 (どのような状態に)	市民の文化芸術に対するニーズに的確に対応し、市民の文化芸術に係る活動を促進します。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>事業効果が即現れるものではありませんが、広く市民を対象にクラシック音楽や人形劇の鑑賞など優れた文化芸術に触れる機会の拡充や、本物の文化芸術を低料金で鑑賞する機会の提供に努めました。また、複数の企業の協力により実施している事業、市民が主催する文化事業に対する助成金の交付など、市民のニーズに対応した事業を展開し、文化芸術に対する意識の高揚に努めました。</p> <p>文化芸術を鑑賞する機会の提供、苫小牧アートフェスティバルなどの市民参加型事業の開催、また、市民が主催する文化事業に対する助成を行いました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	23	文化芸術の振興		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>少子・高齢化や情報化の進展する社会背景の中で、多様化する市民ニーズに対応し、あらゆる市民が文化芸術活動に親しむことが出来るような機会の充実や支援体制の整備・促進などに努め、文化芸術に対する市民の意識高揚に努めます。</p>				

施策評価表

施策番号 222320

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	3 市民文化			
個別施策	2 人材の育成			
担当部・課	教育部 生涯学習課	評価者	課長 白川 典之	

1 施策が必要な背景及び現況

文化芸術は、人々の創造性や感性を育み、心豊かな社会を形成することから、市民生活のよりどころとして重要な役割を担っています。少子高齢化や高度情報化が著しく進展する社会背景の中、一段と多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、文化芸術活動の支援や人材の育成、文化財の保存活用などに努めます。

2 施策の目標

文化の薫り高く潤いある市民生活形成のため、文化芸術を支える想像性豊かな青少年の育成と、芸術家や優秀な指導者などの人材育成に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民
手段・方法 (どのような方法で)	学習機会と指導機会を充実すること
施策の意図 (どのような状態に)	文化芸術を支える創造性豊かな青少年の育成と、芸術家や優秀な指導者などの人材を育成し、文化の薫るまちづくりを進めます。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>青少年ミュージックキャンプでは子ども達が一流に学ぶことにより、高度な技術を習得する機会の拡充を図りました。また、アーティストバンクの登録者増とともに市民周知が進み、アウトリーチ推進事業や他のイベントで、登録者の発表・指導などの活動の機会拡大となり、創造性豊かな芸術家、指導者の育成が図られています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	23	文化芸術の振興		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>文化芸術の振興のためには、あらゆる市民が文化芸術に親しめるような支援体制の整備とともに、次世代の文化芸術を支える人材育成が必要なことから、青少年が一流の芸術家から学ぶ事業の継続や、市民参加イベント・アウトリーチなど様々な場面において発表し交流できる機会の拡充などに努めます。</p>				

施策評価表

施策番号	222330
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます		
基本施策	3 市民文化		
個別施策	3 文化財の保存と活用		
担当部・課	教育部 生涯学習課	評価者	課長 白川 典之

1 施策が必要な背景及び現況

文化芸術は、人々の創造性や感性を育み、心豊かな社会を形成することから、市民生活のよりどころとして重要な役割を担っています。少子高齢化や高度情報化が著しく進展する社会背景の中、一段と多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、文化芸術活動の支援や人材の育成、文化財の保存活用などに努めます。

2 施策の目標

文化の薫り高く潤いある市民生活形成のため、歴史的文化遺産の保存と有効活用に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民
手段・方法 (どのような方法で)	有形・無形の歴史的文化遺産について、その特性を踏まえた保存と有効活用
施策の意図 (どのような状態に)	郷土に対する誇りや愛着を育み、文化の薫るまちづくりを進めます。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	歴史的文化遺産を次世代に繋げ、文化の発展を理解し、郷土に対する誇りや愛着を育むために継続して事業を展開し、保存、活用を図っています。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	23	文化芸術の振興		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	歴史的文化遺産は本市の歴史・文化を理解する上で欠かせない財産であり、保存・継承が必要なことから、継続した保存整備とともに有効活用を図ることにより、郷土に対する誇りや愛着を育み、市の文化・歴史を次世代につなげていきます。				

施策評価表

施策番号 222341

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	3 市民文化			
個別施策	4 環境の整備と充実①			
担当部・課	教育部 生涯学習課	評価者	課長 白川 典之	

1 施策が必要な背景及び現況

市民生活を取り巻く環境は、少子・高齢化や高度情報化など様々な要因により、社会構造が複雑多岐にわたり変化しています。こうした社会背景の中で、潤いのある豊かな生活に欠かせない文化芸術活動を支援するため、知識・情報と生涯学習の機会を提供する文化の拠点施設として、環境の整備に努めます。

2 施策の目標

文化の薫り高く潤いのある市民生活の一端を担い、市民が利用しやすい図書館を目指し、図書資料などを通じた知識・情報の提供の場として、中央図書館の環境整備を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	広く一般市民（苫小牧在住・通勤・通学及び白老・厚真・安平・むかわ町に居住する者）
手段・方法 (どのような方法で)	市民の様々な要望や、高度情報化社会に適応した図書資料の収集・保存・提供（公開）と活用機会の場を提供
施策の意図 (どのような状態に)	本市の情報センター的役割を担い、「いつでも・誰でも・どこからでも」必要な情報提供サービスが可能

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>利用者数及び貸出数は、4年連続で指定管理者制度導入前のH25年度の実績を上回っています。</p> <p>利用者数：H25年度255千人、H26年度293千人、H27年度305千人、H28年度314千人、H29年度310千人</p> <p>貸出資料数：H25年度441千冊、H26年度466千冊、H27年度472千冊、H28年度481千冊、H29年度452千冊</p> <p>指定管理者制度導入により蔵書整備費が増加したことで、より多くの市民要望に応えられるようになり、また、図書館資料や郷土資料の収集範囲が増えたことにより、コンテンツの密度を高めました。電子図書館サービスのタイトル増や「iPad講座」「ソーシャルメディア講座」の開催により、市民がデジタル情報を活用するための環境が充実しました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	21	生涯学習の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>文化の醸成や生涯学習社会の実現には、生涯学習施設において全ての人が等しく利用できる環境づくりや、市民ニーズや社会環境の変化に適応した展示や事業の充実、知識や情報の提供を行うことが必要なことから、施設において提供するサービスの質の向上とともに、市民の文化活動の拠点としての機能の充実に努めます。</p>				

施策評価表

施策番号	222342
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます		
基本施策	3 市民文化		
個別施策	4 環境の整備と充実②		
担当部・課	教育部 美術博物館	評価者	副館長 五十嵐 充

1 施策が必要な背景及び現況

文化芸術は、人々の創造性や表現力を高め、ゆとりと潤いのある地域社会を形成するため重要な役割を担っています。多様化する市民ニーズに対応し、心豊かに暮らせるまちづくりを進めるには、これまで培われてきた多様な文化を保存・継承するとともに、文化芸術に接する機会の拡大や活動の支援、環境の整備などが求められています。

2 施策の目標

展示事業を始め、教育普及事業などに積極的に取り組むほか、博物や美術資料の収集と保管に努め、博物館と美術館機能を併せ持つ地域の総合博物館としての使命と役割を果たします。また、老朽化した建物や付帯設備の整備についても推進します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	幼児から一般市民まで
手段・方法 (どのような方法で)	常設展示や特別展・企画展示事業、大学講座・郷土学習など教育普及事業を実施します。
施策の意図 (どのような状態に)	市民の学習意欲を高め、支えていくとともに、生涯にわたる学習支援を行います。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>施策の評価指標は、美術博物館の利用者数です。 平成29年度の利用者数は、目標の3万人を大きく上回る4万6176人となり、第5次基本計画の後期計画期間中、5年連続で目標を達成しています。29年度は、トヨタ自動車北海道(株)25周年記念特別展だけで1万人以上の集客がありました。が、「恐竜展」「柳原良平展」など他の企画展も多く市民の関心を集め、足を運んでいただきました。博物館に美術館が併設されて5年目となり、市民の中に美術博物館として定着してきたものと認識しています。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	23	文化芸術の振興		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>1 文化芸術活動を促進するため、全ての市民が文化芸術に触れる機会の充実や支援体制を整備します。 2 次世代を担う創造性豊かな青少年の育成、芸術家などの人材育成に努めます。 3 常設展示内容の見直し、高齢者や障がい者、外国人に対応する環境整備に努めます。 4 美術・博物資料の収集保存に努め、展示や各種事業を通して市民に還元します。</p>				

施策評価表

施策番号	222343
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます		
基本施策	3 市民文化		
個別施策	4 環境の整備と充実③		
担当部・課	教育部 科学センター	評価者	副館長 松本 誠

1 施策が必要な背景及び現況

科学センターは、地域唯一の科学博物館であり、将来を担う青少年の人材育成のための社会教育施設であるとともに市民の生涯学習施設です。また、ミール展示館は、本市の観光資源にもなっています。科学技術が著しく進展する時代において、科学的知識の普及に有効な施設整備および事業の充実が求められています。

2 施策の目標

- 1 施設内外の環境整備及び老朽化した設備・展示機器の整備を図ります。
- 2 展示の解説及び実験・体験を通して、青少年の科学に対する興味関心の向上に努めます。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	小中学生・一般市民
手段・方法 (どのような方法で)	展示の解説、実験・体験学習を中心とした事業を展開する。
施策の意図 (どのような状態に)	科学技術に対する関心と基礎的素養を高める。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	本市の厳しい財政状況のため、施設内外の環境整備及び老朽化した設備・展示機器の整備は進んでいません。しかし、青少年及び一般市民向けに対して、展示機器を丁寧に解説することや、各種の講座を実施することを行っています。さらに本館は、苫小牧市内の全小学校を対象にして、科学センター学習を行っています。以上より、本館が行っている事業は、青少年・市民が科学に対する興味・関心の向上に寄与しています。また、世界に唯一の宇宙ステーション「ミール」の予備機は、本市の観光拠点としても高く評価されており、本館利用者数も目標を上回りました。				

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	21	生涯学習の推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	青少年の科学に対する興味・関心を高めるため、宇宙ステーション「ミール」の展示事業を始め、各種体験事業などの充実に努めます。				

施策評価表

施策番号 222410

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	4 スポーツ・レクリエーション			
個別施策	1 生涯スポーツの充実			
担当部・課	総合政策部	スポーツ都市推進課	評価者	課長 神保 英士

1 施策が必要な背景及び現況

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実に努めてきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

2 施策の目標

市民一人ひとりが健康で活力ある生活を目指し、性別や年代層に応じた様々な健康・体力づくりの事業を行います。
「市民皆スポーツ」を推進するため、市民がスポーツに親しむ機会の拡大を図ります。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民
手段・方法 (どのような方法で)	施設の整備や指導者の養成・確保、充実したプログラム提供を行う。
施策の意図 (どのような状態に)	いつでも、どこでも、だれもがスポーツに親しめる環境を創る。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>平成29年度の目標である生涯スポーツ事業参加者数236,000人に対し、平成29年度実績は239,200人となり目標値を超え計画のとおりとなりました。</p> <p>また、各事業では、例年開催のスポーツ教室や市民スポーツ祭の開催のほか、平成28年度にはスポーツ都市50周年による様々な記念事業を行ったほか、平成29年度には、元プロ野球選手等による「ドリーム・ベースボール」や平昌オリンピックパブリックビューイングの開催など、市民へスポーツを行う切っ掛けづくりと夢や感動を与えることができました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	22	市民スポーツの推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>市民一人ひとりの健康で活力ある生活を目指すため、軽スポーツを始めとする各種教室や市民スポーツ祭を開催します。</p> <p>また、様々な行事について広くPRをし、これまでスポーツへの関心が少ない方に対するアプローチを行い、市民皆スポーツを推進します。</p>				

施策評価表

施策番号	222420
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	4 スポーツ・レクリエーション			
個別施策	2 競技スポーツの充実			
担当部・課	総合政策部	スポーツ都市推進課	評価者	課長 神保 英士

1 施策が必要な背景及び現況

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実に努めてきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

2 施策の目標

競技力向上を目指すため、指導者の養成や、各種講習会や講演会を開催し、多くの市民に夢と感動と勇気を与える競技スポーツを推進します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民、競技団体
手段・方法 (どのような方法で)	施設の整備や指導者の養成・確保、競技スポーツへの参加機会の支援を行う。
施策の意図 (どのような状態に)	競技スポーツの普及・振興、競技力向上を図る。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>各種大会の運営費補助や小・中・高校生の全国全道大会の参加に係る遠征費の補助などを行い、競技スポーツへの参加機会が損なわれないようサポートしている。各競技団体の協力もあり多くの大会が開催されスポーツ参加者数が大きく増加し施策が効率的に行われました。</p> <p>また、平成29年度の評価目標の「競技スポーツ事業参加者数」37千人を約千人上回る、38千人であったため、効率的に事業を展開し目標を達成することができました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	22	市民スポーツの推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>ジュニア世代からシニア世代、障がい者が参加できる機会を提供し、競技スポーツの普及振興を図り、競技人口の拡大に努めていきます。</p> <p>また、各種講習会等を開催し、指導者の資質向上を目指すとともに、プロスポーツ大会や全国大会等を開催することで、多くの市民に夢や感動・勇気を与え、競技スポーツを推進します。</p>				

施策評価表

施策番号 222430

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	4 スポーツ・レクリエーション			
個別施策	3 スポーツ施設の整備と活用			
担当部・課	総合政策部	スポーツ都市推進課	評価者	課長 神保 英士

1 施策が必要な背景及び現況

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実を図ってきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

2 施策の目標

市民スポーツの普及・振興と技術の向上を図るため、陸上競技場、野球場、庭球場などのスポーツ施設を計画的に整備します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	スポーツ施設
手段・方法 (どのような方法で)	施設の適切な管理運営と計画的な改修・整備を行う。
施策の意図 (どのような状態に)	市民や競技団体が利用し易い施設環境を整え、施設の利用促進を図る。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	陸上競技場の全天候化や新とさわスケートセンターの新設、とましんスタジアムと緑ヶ丘公園庭球場の改修が行われ、利用者も増加傾向にあります。また、これまで芝生で運営していたサッカー場を人工芝への改修工事を平成29年度から2ヵ年計画で行っているが、総合体育館を始めとする各施設の老朽化が著しく、今後も優先度の高い施設を順次改修していく必要があります。				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	22	市民スポーツの推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	市民皆スポーツの推進と競技スポーツの振興を図るため、スポーツ施設の安心安全な運営が必要となるため、各施設の現状や在り方を的確に把握し、指定管理者と連携して情報を共有しながら、計画的に整備していきます。				

施策評価表

施策番号	222440
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	4 スポーツ・レクリエーション			
個別施策	4 スポーツ指導者の確保と養成			
担当部・課	総合政策部	スポーツ都市推進課	評価者	課長 神保 英士

1 施策が必要な背景及び現況

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実を図ってきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

2 施策の目標

市民の各年齢層のニーズにあわせ、適切なスポーツ活動ができるよう指導・助言を行う指導者の育成・活用と効果的な指導体制を整備します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民、スポーツ指導者
手段・方法 (どのような方法で)	スポーツ指導者の養成を行い、指導力の向上を行う。(スポーツリーダーバンク事業の充実)
施策の意図 (どのような状態に)	優れた指導者を確保し、生涯スポーツ・競技スポーツの普及振興を図る。

4 第5次基本計画(後期5年)の施策の総括

施策の成果	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input checked="" type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>各少年団指導者等を対象とする講習会を開催し、基礎知識を中心に指導者養成を行っているが、少年団の合併や指導者の高齢化等により、参加者は減少傾向にあります。</p> <p>また、指導者派遣事業については、市内幼稚園等へスポーツリーダーバンク登録者を派遣し一定の効果がありました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	22	市民スポーツの推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>各スポーツ指導者は、ボランティアで指導にあたっているのが現状であるため非常に難しい部分がありますが、指導に対する魅力を伝えながらセミナー等を開催し、各ニーズに合わせた適切な指導ができる人材を育成しながら効果的な指導体制を整備します。</p>				

施策評価表

施策番号	222450
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	4 スポーツ・レクリエーション			
個別施策	5 国際、国内などのスポーツ交流			
担当部・課	総合政策部	スポーツ都市推進課	評価者	課長 神保 英士

1 施策が必要な背景及び現況

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実を図ってきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

2 施策の目標

各種スポーツ大会を積極的に誘致・開催するとともに、国際・国内のスポーツ交流の充実を図り、活力あるまちづくりを目指します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	市民、競技団体
手段・方法 (どのような方法で)	スポーツ環境の整備やPRにより、大会の開催や合宿を誘致する。
施策の意図 (どのような状態に)	市民や市内・市外選手との相互交流により、まちの活性化や競技力向上を図る。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input type="checkbox"/> A (100%)	<input checked="" type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>全国高等学校選抜アイスホッケー大会を開催し国内高校生の交流を行っているほか、国際少年アイスホッケー中学生交流事業の実施によってカナダチームとの国際交流を図っており、成果があると考えます。</p> <p>また、元プロ野球選手等によるドリーム・ベースボール、平昌五輪女子アイスホッケーパブリックビューイングを開催し多くの市民が観戦されスポーツに触れることができました。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	22	市民スポーツの推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>今後も全国高等学校選抜アイスホッケー大会と国際少年アイスホッケー中学生交流事業を継続しながら、各種スポーツ大会等を積極的に誘致し、スポーツ交流の充実を図り、活力あるまちづくりを目指します。</p>				

施策評価表

施策番号	222460
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます			
基本施策	4 スポーツ・レクリエーション			
個別施策	6 各種スポーツ大会や合宿の誘致			
担当部・課	総合政策部	スポーツ都市推進課	評価者	課長 神保 英士

1 施策が必要な背景及び現況

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実を図ってきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

2 施策の目標

夏の冷涼な気候や交通の利便性などをPRし、各種の全国大会や合宿の誘致活動を支援し、青少年をはじめ競技レベルの向上に寄与します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	各種スポーツ大会や合宿
手段・方法 (どのような方法で)	スポーツ環境の整備やPRにより、大会の開催や合宿を誘致する。
施策の意図 (どのような状態に)	市民や市内・市外選手との相互交流により、まちの活性化や競技力向上を図る。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>スポーツ合宿等助成金制度を平成27年度から開始し、毎年増加傾向にあり、平成27年度49団体、平成28年度51団体、平成29年度111団体となり、選手や指導者が助成金制度を利用されています。</p> <p>これは、各競技のレベル向上による練習試合や苫小牧市大会等誘致推進協議会の誘致活動が実り増加しているものと考えます。</p> <p>また、サッカー場を平成29年度から2ヵ年で人工芝に改修していることから、今後の更なる増加も見込まれます。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	22	市民スポーツの推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>夏の冷涼な気候や交通の利便性の良さをPRするとともに、各競技団体や苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携し誘致活動を支援しながら、スポーツ合宿等助成金制度の活用もPRし、更なる誘致を目指します。</p>				

施策評価表

施策番号	222470
------	--------

政策目標	2 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます		
基本施策	4 スポーツ・レクリエーション		
個別施策	7 総合型地域スポーツクラブ育成支援		
担当部・課	総合施策部	スポーツ都市推進課	評価者 課長 神保 英士

1 施策が必要な背景及び現況

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実を図ってきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

2 施策の目標

地域におけるスポーツ活動の新たな基盤として、地域住民が主体的に運営するスポーツクラブを支援し、市民の継続的なスポーツ活動を推進します。

3 施策の対象、手段・方法、施策の意図

施策の対象 (誰・何を)	総合型地域スポーツクラブ
手段・方法 (どのような方法で)	情報提供などによる側面的な支援を行う。
施策の意図 (どのような状態に)	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブによって、スポーツ活動の推進を図る。

4 第5次基本計画（後期5年）の施策の総括

施策の成果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね高い	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
施策の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A (100%)	<input type="checkbox"/> B (80~99%)	<input type="checkbox"/> C (60~79%)	<input type="checkbox"/> D (40~59%)	<input type="checkbox"/> E (39%以下)
施策の成果・効率性・達成状況の評価の理由等	<p>これまで、市として側面的な支援を継続し、平成28年度に新たなクラブが設立され、現在、2つのクラブが活動しています。 また、会員も未就学児から70歳以上までと幅広く、市民の健康増進に寄与しており計画のとおり進んでいると考えます。</p>				

5 第6次基本計画における位置付け

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終了
新計画の施策体系	基本施策	22	市民スポーツの推進		
第6次基本計画における施策の具体的な展開等	<p>地域住民が主体的に運営するスポーツクラブの充実を図るため、各総合型スポーツクラブと連携を深めるとともに、市の側面的な支援のあり方について検討し、市民の継続的なスポーツ活動を推進します。</p>				